平成24年９月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年５月７日

上場会社名　アクセルマーク株式会社　上場取引所　東
コード番号　3624　ＵＲＬ　http://www.axelmark.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）尾下　順治
問合せ先責任者　（役職名）管理部門担当取締役　（氏名）渡邊　祐也　ＴＥＬ　03-5354-3351

四半期報告書提出予定日　平成24年５月14日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無　：有　（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成24年９月期第２四半期の連結業績（平成23年10月１日～平成24年３月31日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年９月期第２四半期	1,908	－	158	－	159	－	133	－
23年９月期第２四半期	－	－	－	－	－	－	－	－

（注）　包括利益　24年９月期第２四半期　133百万円　（－%）　23年９月期第２四半期　－百万円　（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年９月期第２四半期	2,992.46	2,986.45
23年９月期第２四半期	－	－

平成24年9月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年9月期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年９月期第２四半期	1,921	1,481	77.1
23年９月期	－	－	－

（参考）自己資本　24年９月期第２四半期　1,481百万円　23年９月期　－百万円

平成24年9月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年9月期の数値については記載しておりません。

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年９月期	－	0.00	－	0.00	0.00
24年９月期	－	0.00			
24年９月期（予想）			－	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．平成24年９月期の連結業績予想（平成23年10月１日～平成24年９月30日）

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

通期の業績予想に代えて翌四半期の業績予想を開示しております。詳細は四半期決算短信（添付資料）3ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規　ー社　（社名）ー、除外　ー社　（社名）ー

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①	会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	： 無
②	①以外の会計方針の変更	： 無
③	会計上の見積りの変更	： 無
④	修正再表示	： 無

（４）発行済株式数（普通株式）

①	期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年９月期２Ｑ	44,939株	23年９月期	28,877株
②	期末自己株式数	24年９月期２Ｑ	230株	23年９月期	230株
③	期中平均株式数（四半期累計）	24年９月期２Ｑ	44,709株	23年９月期２Ｑ	28,486株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、3ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

平成24年９月期第３四半期連結累計期間業績予想（平成23年10月１日～平成24年６月30日）

第３四半期（累計）	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
	3,008	221	221	156	3,489.23

（注）本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、3ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（４）追加情報 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（７）重要な後発事象 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

平成24年９月期第１四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較は行っておりません。

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるモバイルインターネットを取り巻く環境は、携帯電話の契約者数が、平成24年３月末で１億2,418万契約（出所：社団法人電気通信事業者協会）に達しており、また、当社が注力事業と位置づけるソーシャルゲームの市場は、平成23年度に2,570億円（前年度比1.8倍）、続く平成24年度には3,429億円（前年度比1.3倍）を超える見込みであり、引き続き拡大しております（出所：矢野経済研究所）。

このように市場が急速に拡大する中、当社はさらなる業容拡大と企業競争力の強化を図るべく、平成23年10月１日付でエフルート株式会社と合併し、第１四半期連結累計期間より、ソーシャルゲーム事業拡大に向けた体制の構築を進めて参りました。

そしてこの第２四半期連結累計期間においては、人員の配置転換及び人員採用を積極的に進める等、ソーシャルゲーム事業への経営資源集中を推し進め、既存ソーシャルゲームの積極的な更新及び新規ソーシャルゲームのリリースを行いました。

以上の通り、業容の拡大に努めた結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は1,908,514千円、営業利益は158,809千円、経常利益は159,551千円、四半期純利益は133,789千円となりました。

各セグメントの業績は、次の通りであります。

（ソーシャルゲーム事業）

ソーシャルゲーム事業におきましては、株式会社ディー・エヌ・エーが運営する「Mobage（モバゲー）」において展開するソーシャルゲームの売上が順調に推移しております。当社の主力タイトル「キングダムクロニクル」が平成23年10月度売上高5,000万円以上を達成したのち、その後も引き続き売上が拡大しております。また、平成23年11月28日にリリースした「王様ゲーム」も当第２四半期連結会計期間において登録数50万人を突破する等、両タイトルともに確実に売上を伸ばしております。

また、平成24年３月２日は、新規タイトル「アドベンチャークロニクル」をリリースしいたしました。本タイトルは、わずか２週間後の３月15日に登録者数10万人を突破し、新たな収益の柱へと成長しつつあります。

以上の結果、当セグメントの売上高は、667,471千円、セグメント利益は131,909千円となりました。

（コンテンツ事業）

コンテンツ事業におきましては、「音楽」「書籍」「動画」など既存の携帯電話向けコンテンツの売上が伸び悩む中、第１四半期連結会計期間に引き続き、事業運営体制効率化、並びに不採算コンテンツの整理を進めることで収益性向上に努めて参りました。

一方、スマートフォン市場の拡大を見据え、既存携帯電話向けコンテンツのスマートフォン対応を推し進めました。具体的には、当社の既存携帯電話向けコンテンツである「恋する風水」、「本物の心理」、「コミックｍｉｎｉ」等をスマートフォンに対応させることで、新たな会員の獲得に努めました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、810,915千円、セグメント利益は120,375千円となりました。

（広告事業）

広告事業におきましては、既存の携帯電話向けを中心とした広告ネットワーク事業を主力サービスとして展開しており、前四半期に引き続き、当第２四半期連結会計期間においても、広告主からの継続的な受注を獲得しております。

また、当セグメントには海外事業を含んでおり、海外におけるモバイル市場の拡大に備えて投資的な位置付けでインドネシア、マレーシア、ベトナム等東南アジア各国を中心として、モバイル向けリングバックトーンの検索サービス提供の準備を進めました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、441,699千円、セグメント利益は5,478千円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の流動資産合計は、1,499,639千円となりました。その主な内訳は、現金及び預金871,999千円、並びに売掛金609,235千円であります。固定資産合計は、421,537千円となりました。その主な内訳は、有形固定資産27,489千円、無形固定資産327,780千円、敷金及び保証金62,806千円であります。負債合計は、439,754千円となりました。その主な内訳は、買掛金245,590千円であります。純資産合計は、1,481,423千円となりました。その主な内訳は、資本金563,900千円、資本剰余金1,164,474千円、利益剰余金がマイナス240,847千円であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当社は、平成24年１月25日付「業績予想の開示方針の変更並びに連結業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、当社事業を取り巻く環境は急速に変化し、事業の成長速度を予測することが難しいことから、信頼性の高い通期及び半期の業績予想数字を算出することが困難なため、第１四半期連結会計期間より、四半期ごとの業績予想を開示させて頂く方針に変更しております。

平成24年９月期第３四半期連結累計期間業績予想（平成23年10月１日～平成24年６月30日）

売上高	3,008百万円
営業利益	221百万円
経常利益	221百万円
四半期純利益	156百万円

なお、上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間 （平成24年３月31日）
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	871,999
売掛金	609,235
その他	28,114
貸倒引当金	△9,709
流動資産合計	1,499,639
固定資産	
有形固定資産	27,489
無形固定資産	
のれん	321,429
その他	6,351
無形固定資産合計	327,780
投資その他の資産	
敷金及び保証金	62,806
その他	3,461
投資その他の資産合計	66,267
固定資産合計	421,537
資産合計	1,921,177
負債の部	
流動負債	
買掛金	245,590
短期借入金	5,000
未払法人税等	28,118
賞与引当金	20,490
ポイント引当金	14,959
その他	125,594
流動負債合計	439,754
固定負債	
固定負債合計	－
負債合計	439,754
純資産の部	
株主資本	
資本金	563,900
資本剰余金	1,164,474
利益剰余金	△240,847
自己株式	△6,113
株主資本合計	1,481,413
その他の包括利益累計額	
その他の包括利益累計額合計	－
新株予約権	9
純資産合計	1,481,423
負債純資産合計	1,921,177

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日）
売上高	1,908,514
売上原価	1,140,460
売上総利益	768,054
販売費及び一般管理費	609,245
営業利益	158,809
営業外収益	
受取利息	86
受取配当金	170
違約金収入	1,889
助成金収入	4,354
その他	2,172
営業外収益合計	8,673
営業外費用	
支払利息	211
株式上場関連費用	1,683
有限責任事業組合整理損	5,031
その他	1,004
営業外費用合計	7,931
経常利益	159,551
特別利益	
貸倒引当金戻入額	5,325
特別利益合計	5,325
特別損失	
役員退職慰労金	5,000
特別損失合計	5,000
税金等調整前四半期純利益	159,877
法人税、住民税及び事業税	26,087
法人税等合計	26,087
少数株主損益調整前四半期純利益	133,789
少数株主利益	－
四半期純利益	133,789

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	133,789
その他の包括利益	
その他の包括利益合計	－
四半期包括利益	133,789
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	133,789
少数株主に係る四半期包括利益	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	159,877
減価償却費	8,031
のれん償却額	45,242
貸倒引当金の増減額（△は減少）	4,383
賞与引当金の増減額（△は減少）	20,490
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△3,943
本社移転費用引当金の増減額（△は減少）	△15,772
受取利息及び受取配当金	△257
支払利息	211
違約金収入	△1,889
有限責任事業組合整理損	5,031
売上債権の増減額（△は増加）	△34,039
仕入債務の増減額（△は減少）	△62,540
前払費用の増減額（△は増加）	3,606
その他	24,280
小計	152,712
利息及び配当金の受取額	257
利息の支払額	△136
法人税等の支払額	△18,035
営業活動によるキャッシュ・フロー	134,798
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△3,177
敷金の回収による収入	73,252
供託金の返還による収入	30,800
有限責任事業組合の整理による支出	△3,000
その他	△215
投資活動によるキャッシュ・フロー	97,659
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（△は減少）	△150,000
長期借入金の返済による支出	△118,597
新株予約権の発行による収入	9
配当金の支払額	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△268,596
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△36,137
現金及び現金同等物の期首残高	767,459
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	8,659
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	132,018
現金及び現金同等物の四半期末残高	871,999

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ　当第２四半期連結累計期間（自　平成23年10月１日　至　平成24年３月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	ソーシャルゲーム事業	コンテンツ事業	広告事業	計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高						
外部顧客への売上高	667,471	810,915	430,128	1,908,514	－	1,908,514
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	11,571	11,571	△11,571	－
計	667,471	810,915	441,699	1,920,086	△11,571	1,908,514
セグメント利益	131,909	120,375	5,478	257,763	△98,954	158,809

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	257,763
のれんの償却額	△30,742
全社費用（注）	△68,212
四半期連結損益計算書の営業利益	158,809

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社管理費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（のれんの金額の重要な変動）
全社において、平成23年10月１日付けでのエフルート株式会社との合併に伴い、第１四半期連結累計期間にのれんが307,421千円発生しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
当社は、平成23年10月１日付けでエフルート株式会社と合併しました。
この結果、第１四半期連結会計期間において資本剰余金が541,269千円増加し、当第２四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,164,474千円となっております。

（７）重要な後発事象
該当事項はありません。